

## 市場環境に係る基礎情報収集調査

### c. 薬局・医療機関の現状 (1/3)

- 民間セクターにおいて患者の自己負担支出額は年々増加しており、2015年時点で3,023億タカに達している。
- 患者の自己負担支出の64%は薬局/医薬品小売が占めている。

図4: 患者自己負担支出の内訳 (2015年)

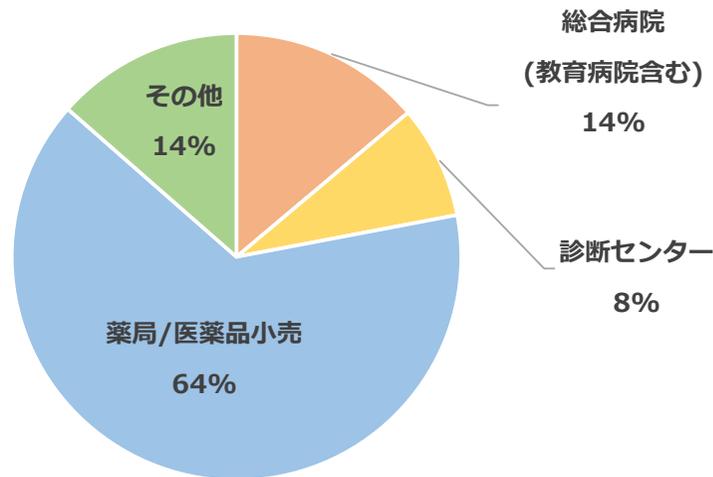
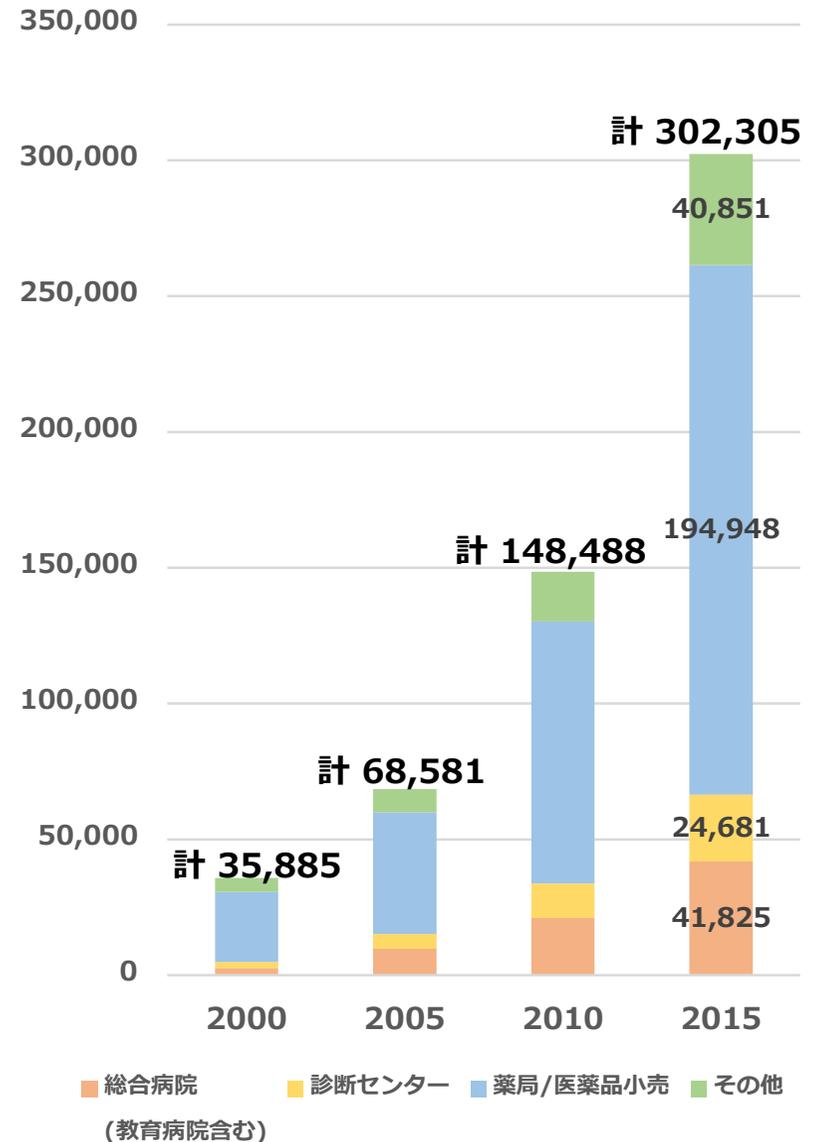


図5: 民間セクターでの患者自己負担支出額 (単位: 百タカ)



(出所) 図4及び5 Bangladesh National Health Accounts (BNHA) 1997-2015、及びHealth Bulletin 2015よりコンソーシアム作成

## 市場環境に係る基礎情報収集調査

### c. 薬局・医療機関の現状 (2/3)

- 民間医療機関数は、2015年を基準にすると、2019年には、民間病院・クリニックは、24%増加し5,321施設に、診断センターは、5%増加し9,529施設に達している。
- 保健家族福祉省 医薬品管理総局 (DGDA) に登録されている小売薬局 (Retail Pharmacy) は2021年時点で139,386施設となっており、その内、調査対象地域のラジシャヒ管区内では、全国の15%、21,587施設となっている。
- 小売薬局 (Retail Pharmacy) において、年間の患者自己負担支出額 (患者が小売薬局に支払う金額) は、全国平均で一施設当たり140万タカと推定される。

表4: 民間医療機関数

施設別	施設数		増加率
	2015年	2019年	
民間病院・クリニック	4,280	5,321	24%
診断センター	9,061	9,529	5%

表5: 小売薬局数 (2021年10月時点)

対象エリア	施設数	全国比
全国	139,386	100%
ラジシャヒ管区	21,587	15%

表6: 小売薬局当たりの患者自己負担支出額 (2015年)

(一施設当たり：全国平均)
(million Taka)
1.4

※ 薬局/医薬品小売支出額を小売薬局数で除して推定値を算出した。また、薬局/医薬品小売の施設数は統計値が無く2021年時点の施設数を代用

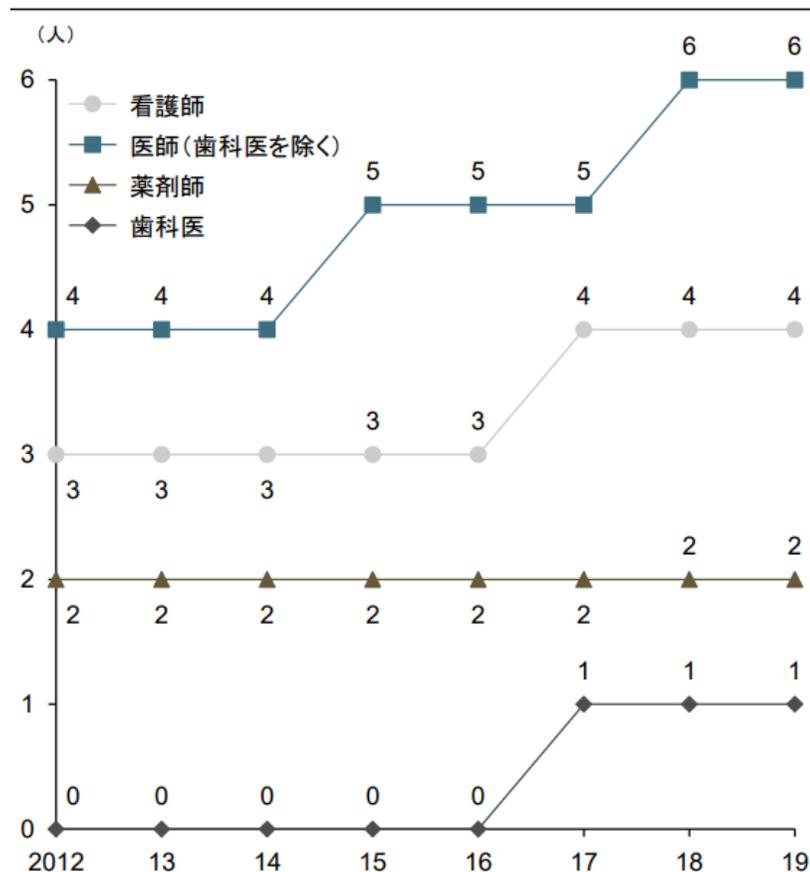
## 市場環境に係る基礎情報収集調査

### c. 薬局・医療機関の現状 (3/3)

#### 薬剤師を取り巻く状況について

- 薬局はDGDAへの登録に際し、薬剤師登録を行う必要があるが、 Bangladesh 国における1万人あたりの薬剤師は2名であり、不足している医師や看護師より全国的に人材不足の状況にある（右図参照）。
- 1976年薬局条令（Pharmacy Ordinance 1976）は、薬剤師（pharmacist）または薬剤師見習い（apprentice in pharmacy）として、(a)大学または付属機関で Bangladesh 薬局薬剤師協会（Pharmacy Council of Bangladesh : PCB）が認める薬学の学位を有する者（A級）、(b)PCBが認める薬学免状（diploma）を有する者（B級）、または(c)PCBが実施または認可する薬学試験に合格した者（C級）を定めている（同条令第24項(1).(a)~(c)）。
- 同条例により、保健家族福祉省保健事業局（Health Service Division）管轄下の独立機関としてPCBが設置され、同法に沿って薬剤師の職業登録証明書の発行を規制している。
- 同条例に沿ってPCBに登録済みの薬剤師は、**A級17,114名、B級5,198名及びC級129,825名**（2022年1月14日時点）。

図6: 1万人あたり医療従事者



(出所) 図6 Fitch Solutions 「Worldwide Medical Devices Market Factbook 2019」(経済産業省「医療国際展開カントリーレポート Bangladesh 編」(2021年3月)より重引)